



2023-2024年度 国際ロータリーのテーマ
世界に希望を生み出そう
CREATE HOPE in the WORLD

写真提供: 池之上 誠会員

Rotary  **倉敷南ロータリークラブ**
国際ロータリー第2690地区第7グループ 創立Jul.7.1961
〒712-8051 倉敷市中畝6丁目6-17

第 2934 例会 R. Song 「我等の生業」 天候：晴れ No.2934/2023. 8. 18

Guest (株)アブレイズ 代表取締役社長 鈴木秀生様、コーチ 田丸正一郎様

Visitor なし

出席 会員数 57 名 (うち出席規定免除者 15 名@2 名①13 名)

8/18 の出席率 64.58% (出席者 31 名、内①6 名)

欠席 青井、土井、浜崎、石本、亀岡、三宅(典)、三宅(繁)、流田、中川、沼本、嵩田(晴)、
滝川、和田(一)、渡辺(英)、山本(英)、横田、吉住、各会員 (17 名)

●浅見副会長

- ・本日は、土井会長が欠席のため代理を務めさせていただきます。
 - ・米山記念奨学会寄付：米山功労賞 嵩田(章)会員(12回)、三宅(典)会員(1回)
- 【会長の時間】先週から夏休みを取り千葉に帰省しておりました。東京駅に向かう電車の中で、新幹線が止まっているというニュースが流れました。伊豆地方、伊豆静岡で線状降水帯が発生しているということで、一旦東京駅まで行ったんですが諦めて自宅に戻りました。お昼過ぎに全面再開という事で、帰ろうと思っても一度東京駅に向かったら、新大阪～京都の間で新幹線が10台ぐらい止まっているという情報が入ってきて、また引き返して次の日(昨日)こちらに無事に帰ってこられました。約30分遅れで夕方には倉敷に到着いたしました。

●幹事報告(山本幹事)

- ・石倉地区ガバナー事務所より、秋田豪雨災害支援金のお願い。他来信8件
- ・8/4 理事役員会の報告：①今年度のOB・OG会は東京開催。例会は来年の1/27(土)に浅草茶寮一松で開催。上野で落語をとという提案が出ています。②会員候補者 石のこばやし代表取締役小林純一様の申込みが承認されました。③その他に例会変更、例会取りやめ：9/8(金)に地区補助金事業である、南極クラスを開催するにあたり、例会変更で9/5(火)に歓迎会・親睦夜間例会に開催いたします。場所はアイビースクエアです。9/22(金)は、クラブ定款により例会取りやめです。

●スマイル報告（小田 S. A. A）

- ・渡辺(清)会員、安藤会員：アブレイズ鈴木様、田丸様の卓話を歓迎します。Vリーグ昇格に向けて頑張ってください。
- ・浅見副会長、山本幹事、小田 SAA：アブレイズ鈴木監督、田丸コーチの卓話を歓迎して。
- ・杉原会員：倉敷アブレイズ鈴木様の卓話を歓迎いたします。
- ・寫田(章)会員：7月に妻の誕生日にきれいなお花をいただき有難うございました。

●プログラム卓話：「チーム創設と今後の展望について」

(株)アブレイズ 代表取締役社長 鈴木 秀生 様（監督）

- ・「倉敷アブレイズ」は、倉敷市水島を拠点として活動しているバレーボールチームです。今年度より最高峰のVリーグに参入させていただくことになりました。
- ・チーム発足の思いについて、学生時代に奈良でバレーボールをやっており春高やインターハイに出るようなバレーボールの強豪校に通っていました。卒業すると同時に大学進学を約束されていたのですが、そこには行きたくない思いがあり、高校3年生の部活の引退とともに岡山県にきました。
- ・その後、いろんな所でバレーボールに携わる仕事をしていた時に岡山県では就実高校という強い学校があり、その子たちと出会うタイミングがあり、将来の話をした際に「バレーボールをする所がないのもう辞めるんです」という声を耳にして、強い選手たちがいるのに、辞めるのはもったいないと感じていました。
- ・20歳の時に独立をして会社を作る際に、もしバレーボールチームを作った場合、場所がないから辞めるという子が数人救われるのではないかなと思っていました。
- ・それから、ママさんバレーや地域のバレーボールチームを作ったりして、本格的にやろうと思ったのが2018年頃です。プロライセンスを頂いてからは一番下(V3)からのスタートで今はV3にいます。SVリーグとVリーグに分かれて、SVリーグにいるためには年間6億、Vリーグには2億、2030年まで猶予あるのでそこを目指してやっていきますが、なかなか厳しいのが現状です。
- ・チームのメンバーには、学生たちよりも厳しい練習をしなさい、礼儀正しく、子どもたちに目指してもらえるチームになりなさいと伝えています。
- ・ある時、フィリピンに行ったときに極貧な地域があり、そこにボランティアで行きたいと言った際に、初めは危ない・汚い・病気を貰うと断られました。しかし条件を付けて、鉄砲を持った人4人を連れて現地に行き、ノートと鉛筆とお菓子を配りました。そうするとそれを受け取った子どもたちは泣いて喜んでくれました。人々の為に何が出来るか考えていき、練習をしつつ、子どもたちにバレーボールを教えたり、地域に貢献していきたいと思います。

例会プログラム予定：2023年8月25日(金)卓話「人を動かす」 石川 紘(こう) 先生（水島第一病院顧問、元岡山県医師会会長） / 2023年9月1日(金)卓話「ロータリーの友について」 雑誌記録委員会